

# 「オンラインセミナーと代理店の賠償責任」

## オンラインセミナー開催、杉山氏が講演

日本代協近畿ブロック協議会（小橋信彦会長）は12月3日午後3時から、オンラインで代理店賠償責任保険セミナー「コンプレックス」を開催した。

現在チャブ保険には一日に3〜4店、年間735〜1225店から募集行為に関し、顧客から損害賠償請求や訴訟されるかもしれない、あるいは保険会社から求償されるかもしれないという相談がある。

日本代協近畿ブロック協議会（元チャブ損害保険営業開発本部・本部長兼営業教育部長）が務め、代理店におけるコンプレックスや法令上の責任等の基本的ルールとトラブル事例等について解説した。

後半ではトラブル事例として「2015年11月の火災保険料アップを受け保険料を下げるため地震保険を外したが翌年熊本地震が発生し意向確認とでトラブルに陥った」「自動車保険金を請求する際の判断のため年度以降の保険料を試算した

が、事故割に生命保険で契約者の妻が複数の契約について解約返戻金を受け取ったため実際の保険料は大幅に高くなったと指摘された」「傷害保険で保険事故があったが、通院に

関係する商品改定で補償範囲が狭まったことの説明をしなければならなかった」「自動車保険で夫婦限定特約を外す依頼があったが失念していた」「車両入れ替えがあったが車両新価格を約を付け忘れていた」「個人事業主が法人成りし自動車保険を法人契約とした際に同じ補償と説明したが友人が運転して事故を起こし保険金が支払われなかった」「ケースを紹介し、それぞれの留意点を挙げながら分かりやすく解説した。

京都代協（小橋信彦会長）および京都府保険代理業協同組合（辻本完治理事長）ならびに損保協会近畿支部京都損保会（桑田周一会長）では、京都府と防災知識の普及啓発、損害保険の加入促進、災害発生時の保険請求手続き等の支援を内容とした「損害保

京都代協、京都府保険代理業協組、損保協会京都

### 京都府と防災連携協定を締結

に関する防災連携協定を締結した。その締結式が11月11日午前10時55分から京都府庁1号館会議室で行われた。京都代協等では6月に京都市と、業界団体としては初めての自治体との損害保険加入促進を目的とした包括連携協定を



前列右から小橋氏、西脇知事、辻本氏、桑田氏

当日は各団体の代表者らと西脇隆俊知事、重内賢一危機管理監、藤哲也防災監らが出席した。協定の概要説明、協定書確認・交換の後、西脇知事が「保険制度は加入者が多いほど財政基盤も安定する。何より災害時への備えという観点で、これに対し三団体を代表して辻本氏がお礼の言葉を述べた。